道徳教育全体計画

学校努力点

『　関わり愛　学び愛　認め愛　』
～振り返りによる認め愛を通して～

道徳教育の重点目標

・ 自他の良さを認め合い、自己肯定感を育てる。
・ 思いやりをもって、人とかかわり合う心を育てる。
・ 美しいものや自然に感動する心や感性を育てる。
・ 学び方やものの考え方を身につけ、問題の解決に主体的に取り組み、自分の生き方を考える。

学年の重点目標

1年	2年	3年
・基本的な生活態度を身に付けるとともに、思いやりをもって人と関わり合う心を育てる。 ・自分の良さや相手の良さを認め合える生徒を育てる。 ・自分の判断し、責任をもって行動する生徒を育てる。 ・基本的な生活態度を身に付けるとともに、思いやりをもって人と関わり合う心を育てる。	・相手の立場や気持ちを考えた行動ができる生徒を育てる。 ・学校生活の中堅としての自覚をもたせ、何事にも主体的・積極的に活動できる生徒を育てる。	・最上級生としての自覚をもち、自己の役割や責任を果たし、協力し合って集団生活の向上に努める生徒を育てる。 ・広く社会や将来に目を向け、自らの目標実現に努める生徒を育てる。

道徳の時間

・道徳資料を活用し、様々な考え方・生き方があることを学ぶ。
・教師の説話を通し、教師自身の人生観や身近な出来事から学ぶ。
・構成的グループエンカウンターやラボラトリー方式の体験学習（GW）を用いて、コミュニケーション能力と自己肯定感及び、課題解決能力を育む。
・ いじめ防止教育プログラムを活用し、「自分の大切さとともに、他の人の大切さを認める」ことのできる人権意識の高い生徒を育てる。